

風水害

風水害には台風・豪雨・土砂災害などがあります。これらの災害は、事前に予測できる場合があるため、普段から備えておくことが大切です。

知る

警報・注意報の内容を知りましょう



風水害の危険を知りましょう

大雨

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間に10~20mm	1時間に20~30mm	1時間に30~50mm	1時間に50~80mm	1時間に80mm以上
長く続くときには注意。	下水や小さな川が溢れる。	山・かけ崩れが起きやすい。	水が噴出したり土石流が起こりやすくなる。	大規模災害のおそれがある。

強風

やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
10~15 m/秒	15~20 m/秒	20~25 m/秒 25~30 m/秒	30~ m/秒
風に向かって歩きにくく、傘がさせない。	転倒する人も出る。屋根葺材がはがれる。	つかまらないと立ってられない。	屋外での行動は極めて危険。走行中のトラックが横転する。

洪水の種類

はん濫には川の水などがあふれてしまう「外水はん濫」と、降った雨を排水しきれず街中にあふれてしまう「内水はん濫」の2種類があります。

土砂災害の特徴



備える

雨・風の対策をしましょう



防災情報

富良野市には、空知川、富良野川、ベベルイ川、ヌッカクシ富良野川、西達布川など、大雨が降った場合に浸水が起こる恐れのある川が複数あり、毎年のように大雨や台風などによる被害が発生しています。2016年には、一週間に3度の台風上陸や台風10号接近による大雨の影響で市内の河川が増水し、各地で避難勧告を発令しました。9ページからのマップを見て、自分の地域の危険を確認しておきましょう。



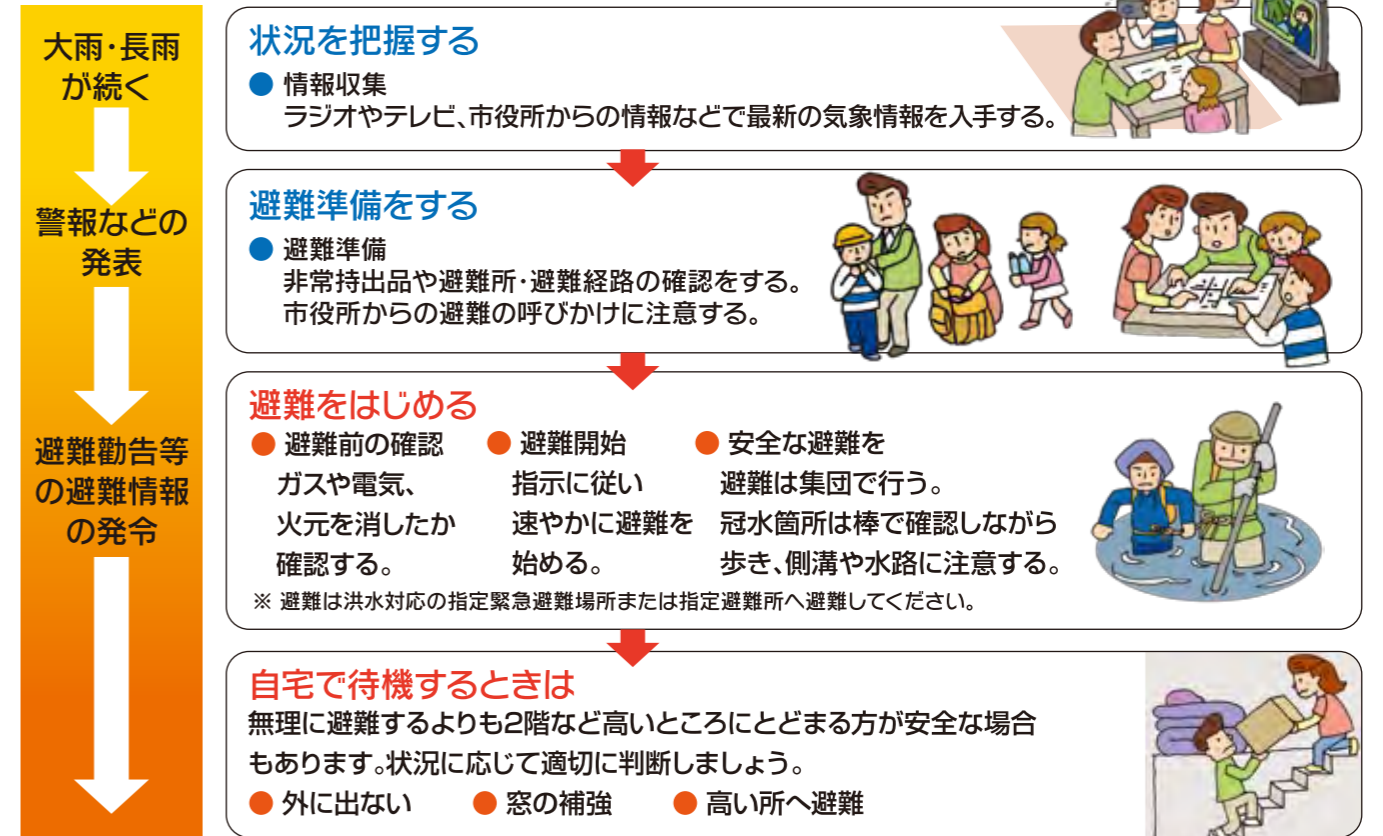
身を守る

周囲の変化をとらえましょう

天候の変化 状況の変化 (土砂災害の前兆)



風水害発生の流れ



避難するときの注意点

- 警報などが発表されなくても、危険を感じたら早めに避難する。
- 避難は複数人で、基本は徒歩で行う。
- 浸水している場所は、棒で確認しながら側溝や水路に注意する。
- 子どもはロープなどでつなぎ、はぐれないようにする。
- 警報や注意報が解除されるまで、警戒を続ける。
- 長靴での避難は避け、履きなれた靴で行う。
- 浸水の状況によっては、頑丈な建物の2階以上へ避難する。
- 水害時に浸水想定区域内の避難所に避難をする場合、建物の2階以上に避難をし、1階を使用しないこと。
- アンダーパスは、急激に水が流れ込んだり、増水したりして危険。安全に避難できる経路を確認する。

防災情報

富良野市では、洪水の危険性を実感できるよう、まちをまるごとハザードマップと見たと、「まちなか」に洪水関連標識を設置しています(対象河川:空知川)。なお、本防災ガイドマップにおいて、避難所などは国土交通省国土地理院のマークで表示しています。



洪水時の避難先となる安全な建物を示すマークです。

洪水の影響を受ける可能性があることを示すマークです。